

【件名】

名勝哲学堂公園の再整備に係る取組について

【要旨】

令和5年3月に策定した「名勝哲学堂公園保存活用計画」（以下、保存活用計画という）に基づく哲学堂公園の再整備について、取組状況を以下のとおり報告する。

1 再整備基本計画の検討

哲学堂公園においては、保存活用計画に基づき、その本質的価値を構成する諸要素を適切に保存するとともに、文化財への理解や興味が深まるよう活用を図り、併せて来園者の安全性、利便性の向上に資する再整備を行っていく必要がある。

令和5年度、これら整備内容の範囲、規模、手法等の具体化を図り、実施手順や必要な手続等を検証するため、「名勝哲学堂公園再整備基本計画」のとりまとめに向けて検討を進めている。

2 再整備基本計画の検討状況

(1) 学識経験者等への意見聴取

① 対象者

保存活用計画検討委員会における学識者委員（造園学2名、建築学1名、哲学堂研究者1名 計4名）及び関係行政機関（文化庁、都教育庁）

② 実施経過

令和5年10月 第1回（再整備基本計画の方向性について）

令和5年11月 第2回（再整備基本計画の検討案について）

(2) 主な整備内容

① 文化財の価値を高める保存管理に関する整備（文化財の修復・復元、植生管理等）

② 文化財の価値を伝える活用に関する整備（案内・解説、展示施設等）

③ 利用と安全に関する整備（利用動線、便益・管理施設、給排水設備等）

3 今後の再整備スケジュール（予定）

令和6年2月 学識経験者等への意見聴取（第3回）

3月 オープンハウス開催、再整備基本計画とりまとめ

令和6年度以降 以下のとおり

保存活用計画の改定（目安）

	短期		中期		長期
公園施設	基本設計	実施設計・工事（第1期）	実施設計・工事（第3期）		
			実施設計・工事（第2期）	実施設計・工事（第4期）	
管理棟	運営・活用方針検討、設計等		仮設・準備工	建築工事	
古建築物等修復	常識門		石造物		
		六賢台・霊明閣・客観廬・主観亭			

※関係機関等との協議検討状況、発掘調査の状況等により、変更の可能性がある。